

ユリ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	葉 枯 病	茎 腐 病	茎 腐 敗	鱗 茎 さ び	う ど ん こ び	灰 色 か び	斑 点 病	乾 腐 病	軟 腐 病	ア ブ ラ ム シ 類	オ ン シ ツ コ ナ ジ ラ ミ	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ 類	ネ ダ ニ 類	
																			*d
エコショット顆水	生物農薬	BM2		*d	-	◎													
I Cボルドー66DFL	無機	M1		-	-	◎													
フルピカFL	A P	9		*e	5	◎					◎								
オンリーワンFL	DMI	3		*b	1								浸						
アフエットFL	アミド	7		*e	3	◎				◎	◎								
ポリオキシンAL溶	抗生物質	19		*e	8	◎													
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		-	5	◎	◎												
オーソサイド水80	他	M4		*b	1			浸											
ダコニール1000FL	他	M5		-	6	◎						◎							
フロンサイド水	他	29		*e	3	◎													
				*a	1				浸										
フロンサイド粉	他	29		*f	1		◎												
フロンサイドSC	他	29		*g	2		◎												
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		*e	6									◎					
カッパーシン水	抗生物質・無機	24・M1		*e	6									◎					
ホームイ水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*b	1			球											
トレボン乳	ピレストイド	3A		-	6									◎					
ジメトエート粒剤5	有機リン	1B	劇	*i	3														◎
スプラサイド乳40	有機リン	1B	劇	*a	1														◎
				*h	6														
				*g	1														◎
				*i	1														◎
ウララ50DF	他	29		*h	6									◎					
グレーシア乳	他	30		*a	1														浸

- \*a: 植付前
- \*b: 植付前又は貯蔵前
- \*d: 発病前～発病初期
- \*e: 発病初期
- \*f: 定植前
- \*g: 定植後
- \*h: 発生初期
- \*i: 定植時
- 浸: 球根浸漬
- 球: 球根腐敗病で球根浸漬又は球根粉衣

ユ  
リ

## ユリ（花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉枯病	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨よけ栽培を行う。</li> <li>・梅雨期に次の薬剤のいずれかを散布する。            ダコニール1000(FL) 1000倍            フルピカフロアブル 2000～3000倍            フロンサイド水和剤 2000倍            ポリオキシシンAL水溶剤 2500倍</li> </ul>	梅雨期に発生しやすい。
	生育期		
茎腐症 (リゾープス菌による)	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の薬剤を土壌混和する。            フロンサイド粉剤 40kg/10a</li> </ul>	密植、過湿をさけ、特に茎葉が軟弱にならないように注意する。
茎腐病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生の初期に次の薬剤を散布する。            トップジンM水和剤 1500～2000倍</li> </ul>	
白絹病	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次のいずれかで土壌消毒する。            ガスタード微粒剤*            バスアミド微粒剤*            いずれも20～30kg/10a</li> </ul>	*花き類・観葉植物での登録
	生育期		
鱗茎さび症	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の薬剤で球根を瞬間浸漬する。            フロンサイド水和剤 100～200倍</li> </ul>	
モザイク病	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 増殖用の球根は健全株からとる。</li> <li>2. 増殖は寒冷紗被覆による栽培を行う。</li> </ol>	ユリ微斑ウイルス(LMoV)、キュウリモザイクウイルス(CMV)などによっておこる。
	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アブラムシ類を防除する。</li> <li>2. 発病株は抜きとって処分する。</li> </ol>	
アブラムシ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。            アドマイヤーフロアブル* 2000倍            オルトラン水和剤* 1000～1500倍</li> </ul>	ワタアブラムシ、ニフトコフクレアブラムシが寄生する。  *花き類・観葉植物での登録
その他の病害虫		疫病、炭疽病	